



積極的に話しかけてください!!

11月から2月までの4か月間、朝日診療所で勤務をしていただく会津中央病院看護師の渡邊 潤さんです。渡邊さんは地域の皆さんと交流をしたいと考えていますので、ぜひ皆さん積極的に話しかけてみてください。また、プライベートでは熊肉やマトンを食べたり、スノーボードなどをして只見での冬を楽しんでみたいそうです。

皆さん、どうぞよろしくお祈りします。

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 若山 隆

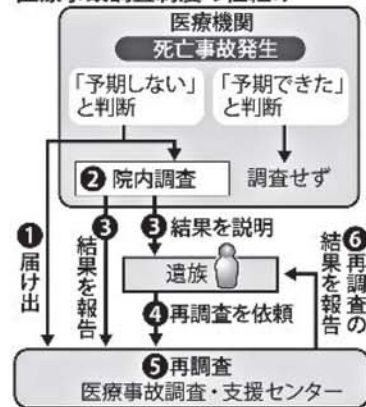


「医療事故調査制度について」

今回は、先月の10月1日から始まった医療事故調査制度についてお話させていただきます。この医療事故調査制度は、医療事故で死亡者がでってしまった場合、その原因を解明し、再発を防ぐために始まりました。大切なのは医療事故の可能性のあるものはなるべく第三者に報告され調査されることです。今回の制度では、医療事故かどうかは、医療者が事前に「予期できた」ものかどうかポイントになるようです。予期できていたかどうかは、検査や処置・手術などの際に、患者側に合併症により「亡くなる可能性」について事前の説明したり、書面に残したりしてあるかどうか重要であるとされています。医療者が説明できておらず、「予期しない」死亡であると考えられる場合は、医療者側には、医療事故にあたるかどうかを調査する民間の第三者機関(医療事故調査・支援センター)に報告する義務が課されます。当然ですが、医療機関としては不必要な調査が入らないように気を付けることになり、検査や処

置・手術などの際にこれまでより「亡くなる可能性」についてしっかり説明するようになるでしょう。そのため、病院での説明で“死ぬことばかり”話をされて、怖いな~と思うことが増えるかもしれませんが、そんな時は“この医療事故調査制度が背景にあるんだな~”と思ひだし、過度に不安にならないようにしてください。

医療事故調査制度の仕組み



地域おこし協力隊として vol.14 只見町教育振興協力隊 末谷 広大

『山村教育留学生、町イベントに参加』

こんにちは、只見町教育振興協力隊の末谷です。夏から秋にかけて只見町で行われる様々なイベントに、山村教育留学生が参加しました。只見高校として参加する姿も見られますが、個人的に友人と一緒に参加する姿も多くみられるようになり、とても嬉しい限りです。9月の町民運動会には11人の山村教育留学生が「只見地区只見高校生チーム」として参加し、10月のトリムウォーク&トリムランには着ぐるみを着て数名の山村教育

留学生が参加しました。また、10月の只見町駅伝競走大会には「只見高校生チーム」として山村教育留学生を含めた13名の只見高校生が参加しました。これからもたくさんの町のイベント情報を生徒たちに発信していきたいと思いますが、将来的には只見町民と生徒達とが直接つながりを持ち、相互にイベント等に誘う誘われる関係、そして只見町民と若者とと一緒にイベントを盛り上げる関係を築けることを願います。